

2019年9月18日 全9頁

Indicators Update

2019年8月貿易統計

輸出数量は幅広い地域で減少

経済調査部

エコノミスト 鈴木 雄大郎

シニアエコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲8.2%とコンセンサス（同▲10.0%）は上回ったものの大幅に減少した。2019年に入り、金額は前年比でマイナスの推移が続いていたが、8月は米中摩擦が激化したことで輸出数量が減少した。加えて、円高方向にシフトしたことが輸出金額を押し下げた。
- 8月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲4.6%と3ヶ月ぶりに減少した。輸出数量を地域別に見ると、米国向け（同▲5.0%）、アジア向け（同▲4.4%）、EU向け（同▲3.7%）と総じて減少した。
- なお、優遇対象国から除外する改正政令が施行された韓国向けの輸出金額（大和総研による季節調整値）を確認すると、8月は前月比▲2.2%と2ヶ月ぶりに減少した。一部品目での駆け込みの輸出は見られたが、食料品（同▲28.7%）や輸送用機器（同▲12.4%）などが全体を押し下げた。政治情勢の悪化により、不買運動の影響が出た可能性がある。

図表1：貿易統計の概況

| | | 2018年 | 2019年 | | | | | | | |
|-----------------------|-------------|----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
| 原系列 前年比 % | 輸出金額 | ▲3.9 | ▲8.4 | ▲1.2 | ▲2.4 | ▲2.4 | ▲7.8 | ▲6.6 | ▲1.5 | ▲8.2 |
| | コンセンサス | | | | | | | | | ▲10.0 |
| | DIRエコノミスト予想 | | | | | | | | | ▲12.6 |
| | 輸入金額 | 1.9 | ▲0.8 | ▲6.5 | 1.2 | 6.5 | ▲1.4 | ▲5.2 | ▲1.2 | ▲12.0 |
| | 輸出数量 | ▲5.8 | ▲9.0 | ▲0.6 | ▲5.6 | ▲4.3 | ▲8.9 | ▲5.5 | 1.6 | ▲6.0 |
| | 価格 | 2.0 | 0.7 | ▲0.6 | 3.4 | 2.0 | 1.2 | ▲1.2 | ▲3.1 | ▲2.4 |
| | 輸入数量 | ▲2.2 | 0.5 | ▲6.5 | 0.4 | 4.1 | ▲1.2 | ▲3.2 | 6.7 | ▲6.2 |
| 価格 | 4.1 | ▲1.4 | 0.0 | 0.8 | 2.3 | ▲0.2 | ▲2.0 | ▲7.4 | ▲6.3 | |
| | 貿易収支(億円) | ▲557 | ▲14,177 | 3,316 | 5,227 | 535 | ▲9,702 | 5,875 | ▲2,507 | ▲1,363 |
| 季節 調整値 前月比 % | 輸出金額 | ▲1.4 | ▲6.7 | 6.5 | ▲1.1 | 0.2 | ▲5.2 | 5.1 | ▲0.3 | ▲2.8 |
| | 数量 | ▲0.4 | ▲4.4 | 6.0 | ▲1.9 | 2.6 | ▲7.7 | 5.8 | 1.5 | ▲4.6 |
| | 価格 | ▲1.0 | ▲2.4 | 0.5 | 0.8 | ▲2.3 | 2.7 | ▲0.6 | ▲1.7 | 1.9 |
| | 輸入金額 | ▲4.4 | ▲5.6 | 2.7 | 1.3 | ▲1.0 | 2.3 | ▲3.8 | 1.0 | ▲2.3 |
| | 数量 | ▲1.6 | ▲0.8 | ▲2.0 | 1.4 | 1.9 | 3.1 | ▲6.9 | 7.8 | ▲6.3 |
| | 価格 | ▲2.9 | ▲4.9 | 4.8 | ▲0.0 | ▲2.9 | ▲0.7 | 3.3 | ▲6.3 | 4.2 |
| | | 貿易収支(億円) | ▲1,999 | ▲2,624 | ▲283 | ▲1,910 | ▲1,078 | ▲6,008 | ▲204 | ▲1,040 |
| | 税関長公示レート | 113.12 | 109.47 | 109.66 | 111.16 | 111.18 | 111.07 | 109.05 | 108.00 | 107.21 |

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

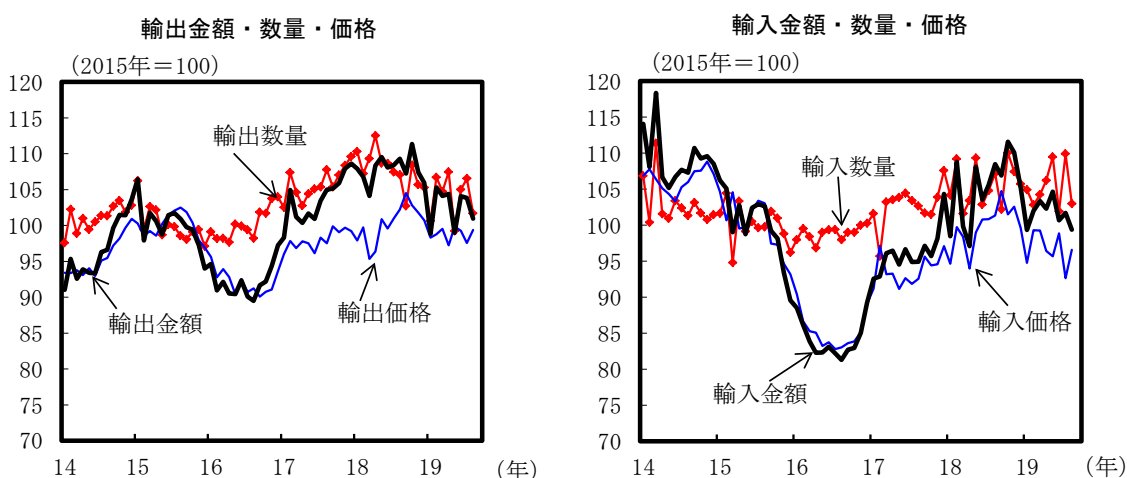
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

【輸出金額】前年比でマイナスの推移が続く

8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲8.2%とコンセンサス（同▲10.0%）は上回ったものの大幅に減少した。2019年に入り、金額は前年比でマイナスの推移が続いていたが、8月は米中摩擦が激化したことで輸出数量が減少した。加えて、円高方向にシフトしたことが輸出金額を押し下げた。

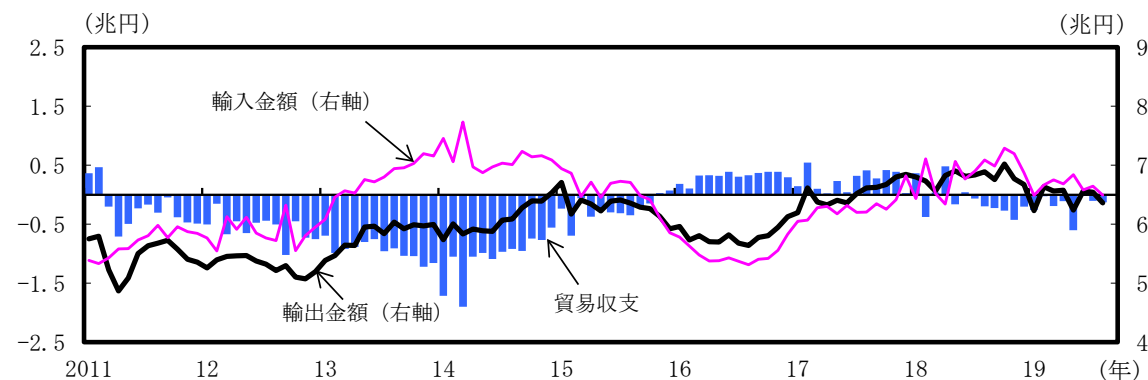
季節調整値で見ると、輸出金額は前月比▲2.8%と2ヶ月連続で減少した（**図表2左**）。輸出金額は2018年後半から減少基調が続いている。貿易収支は▲1,308億円と14ヶ月連続で赤字となった（**図表3**）。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表3：輸出金額、輸入金額、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】幅広い地域で減少

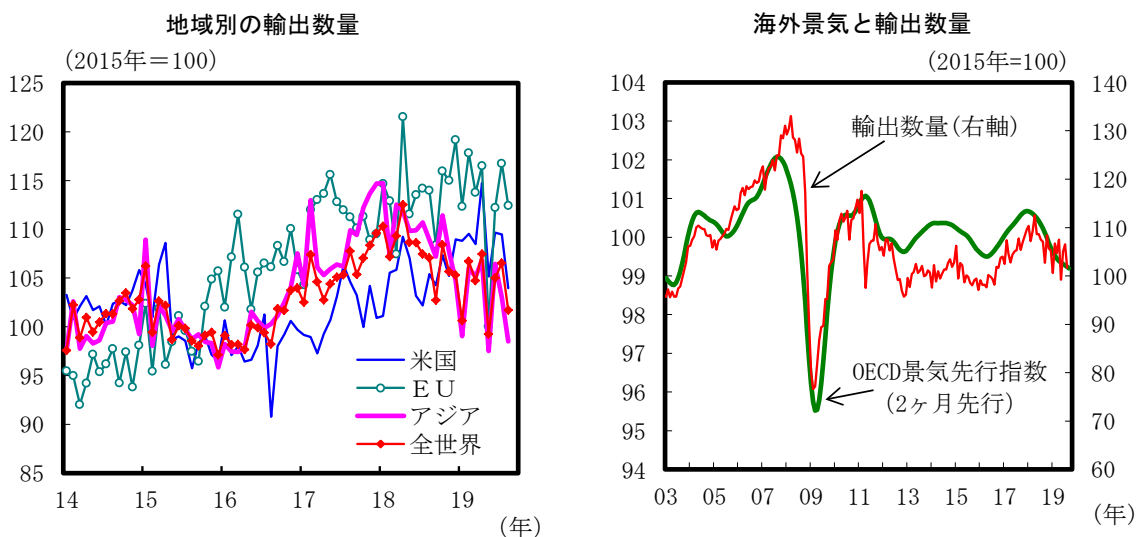
8月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲4.6%と3ヶ月ぶりに減少した。地域別に見ると、米国向け（同▲5.0%）、アジア向け（同▲4.4%）、EU向け（同▲3.7%）と総じて減少した。

米国向けは単月では大幅に減少したものの、均すと横ばい圏で推移している。品目別に見ると半導体等製造装置が減少に寄与した。同品目は2019年2月以降振れを伴いながらも増加基調をたどっていたが、6月をピークに2ヶ月連続で減少している。また、輸出額の大きい乗用車も低水準での推移が続いている。

アジア向けは2018年10月をピークに減少基調が続いている。中国経済の減速を背景に、アジア向けの輸出も冴えない状況が続いている。品目別では、乗用車や自動車の部分品、鉄鋼など幅広い品目で減少した。アジア向けのうち中国向けに関しては、半導体製造装置や鉄鋼、乗用車などが減少に寄与している。

EU向けは8月は減少したものの、2018年後半以降の高水準を維持している。8月の動きを品目別に見ると、環境規制対応で乗用車は引き続き堅調に推移しているものの、非鉄金属や建設用・鉱山用機械などが全体を押し下げた。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

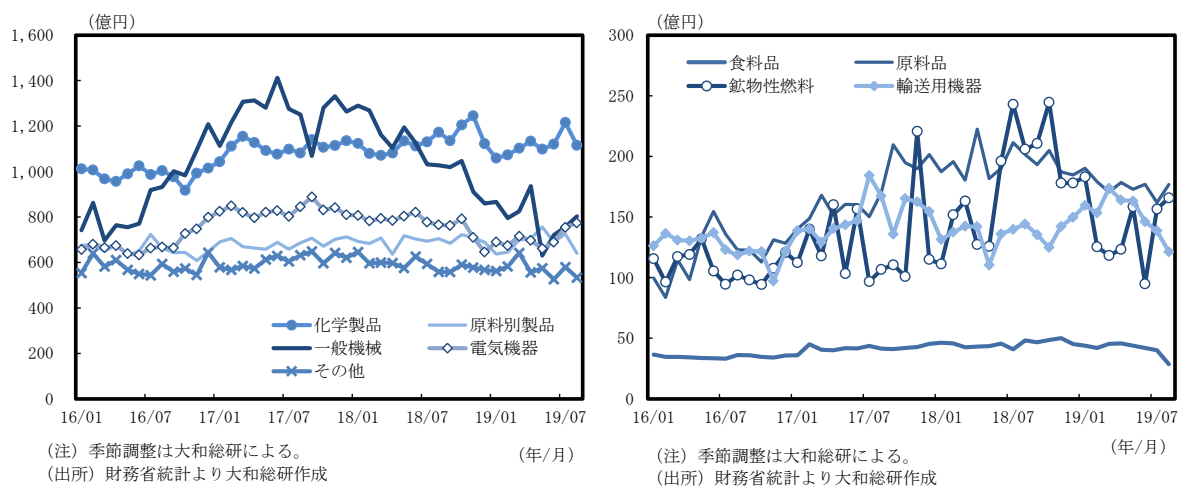
【トピック】韓国向け輸出は2ヶ月ぶりに減少

韓国向けの輸出に関して、日本は7月4日以降、レジスト、フッ化水素、フッ化ポリイミドの3品目の輸出管理の強化を行っている。これに伴い、個別取引ごとに申請し許可を得る方式に変更となったが、従来と比べ輸出審査に時間を要するようになった。審査には一般的に90日前後要するとみられており、7月のフッ化水素の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲83.7%と大幅に落ち込んだ。また8月2日、日本政府は韓国を優遇対象国から除外する政令改正を閣議決定し、28日に施行した。

8月の韓国向け輸出金額（大和総研による季節調整値）は前月比▲2.2%と2ヶ月ぶりに減少した。7月に続き、施行前に原料品や一般機械などに駆け込み需要が見られていたが、食料品（同▲28.7%）や輸送用機器（同▲12.4%）などが全体を押し下げた。これらは政治情勢の悪化による不買運動などの影響であった可能性がある。

また、上述のフッ化水素などの3品目を含み、有機化合物の輸出は前月比▲22.5%と大幅に減少した。一部報道では、レジストの許可は8月上旬以降に順次行われている一方、フッ化水素に関しては、8月30日に初めて輸出許可が出ている。9月以降はこれらの輸出は許可されたものが順次輸出されることが想定される。

図表5：韓国向け輸出金額の推移（季節調整値）



【見通し】輸出数量は力強さを欠く動きが続く

先行きの輸出数量は、地域ごとに濃淡はあるものの、総じてみると世界経済減速の影響を受けて力強さを欠く動きが続くとみている。

中国向けやアジア向けは弱い動きが続くとみている。中国でも景気減速が顕著である。2019年4-6月期の実質GDPは前年比+6.2%と、2018年1-3月期をピークに減速が続いている。中国政府は減税策やインフラ投資のための地方政府特別債券の発行などテコ入れに動いているが、鉱工業生産など月次の統計を見る限り、現時点ではその成果は表れていない。また、中国の公共投資が増加したとしても、日本の輸出への押し上げ効果は建設機械など一部の製品や業種に限られる可能性がある点には留意したい。

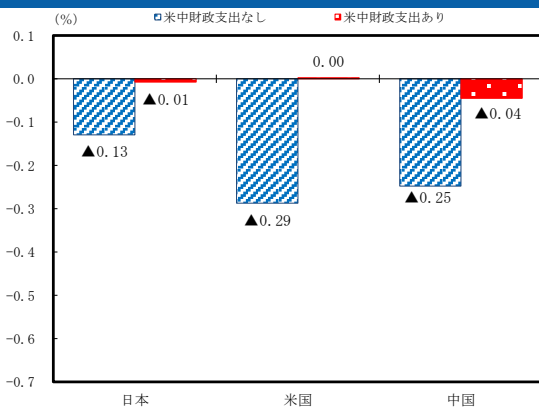
米中貿易摩擦¹に関して、9月1日より、トランプ大統領は中国からの輸入品約1,100億ドルに対して15%の追加関税（いわゆる追加関税第4弾）を賦課している。また、10月15日には既に追加関税をかけている約2,500億ドル相当の対中輸入品目の追加関税を25%から30%へ引き上げる予定だ。残りの1,600億ドル相当に該当する、携帯電話、コンピューター、玩具、衣料品などについても12月15日以降に発動される。第4弾の対象品目を見ると、これまで（第3弾まで）と比べて消費財のウエイトが高い。これらの品目は中国以外からの代替輸入が現時点では難しい品目が多いとされており、追加関税が米国の消費や経済に与える影響が相対的に大きくなる可能性が高く、日本からの輸出に対してもマイナス要因となろう。

他方、欧州向けにおいては自動車輸出が全体を下支えするとみられるが、全体では横ばい圏で推移するだろう。自動車に関しては、EUでは乗用車のCO₂排出量を2021年までに平均95g/kmとする規制が実施されている。CO₂排出量の実績値を見ると、足下では、現地メーカーの車種の多くはこの基準を依然満たしておらず、基準を満たした日本車の輸出が増加している模様だ。このことは今後も後押し材料となろう。他方、ドイツや英国は2018年半ばごろから景気減速が鮮明となっている。足下でもこの傾向は続いており、4-6月期のGDPはマイナス成長に転換した。自動車以外の品目に関しては、弱い動きが続くとみられる。

米国向けは底堅く推移するだろう。2018年の米国経済は減税効果によって加速していたが、その影響は既に剥落し始めている。一方でFRBは金融緩和姿勢を強めており、減速は緩やかなものにとどまるとみている。また今後、財政出動が行われることとなれば、再加速の動きも見られることとなろう。

¹ 詳細は小林俊介、鈴木雄大郎『[『米中冷戦』アップデート-再度決裂、3,000億ドルに10%の追加関税へ 一問一答：なぜ今か？なぜ10%か？その影響は？今後の展開は？中国の対応は？](#)』（大和総研レポート、2019年8月5日）や、小林俊介、鈴木雄大郎『[日本経済見通し：2019年8月 I. 駆け込み出荷でGDPは絶好調という統計トリック、II. 消費増税と教育無償化で損する世代と得する世代、III. 経済見通しを改訂：19年度+0.9%、20年度+0.4%、IV. 米中交渉、再度決裂。残り3,000億ドルに10%の追加関税へ](#)』（大和総研レポート、2019年8月16日）の第4節を参照。

図表 6： 関税第 3 弾までの影響試算



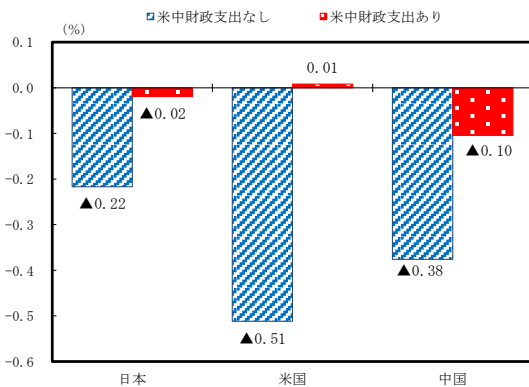
(注1) 米国が中国からの輸入2,500億ドルに25%の追加関税。
中国が米国からの輸入500億ドルに25%、600億ドルに平均14.5%追加関税。
(注2) 全て実質。ベースラインからの乖離率。
(出所) 大和総研のマクロモデルによる試算値

図表 7： 第 3 弾の発動が日米中経済に与える影響（詳細版）

| 中国経済に与える影響 | | 実質GDP | 個人消費 | 設備投資 | 政府支出 | 輸出 | 輸入 |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 米中財政支出なし | 乖離率 | ▲0.25 | ▲0.43 | ▲0.09 | 0.00 | ▲0.57 | ▲0.43 |
| | 寄与度 | | ▲0.17 | ▲0.04 | 0.00 | ▲0.12 | 0.08 |
| 米中財政支出あり | 乖離率 | ▲0.04 | ▲0.43 | ▲0.02 | 1.16 | ▲0.41 | ▲0.27 |
| | 寄与度 | | ▲0.17 | ▲0.01 | 0.17 | ▲0.09 | 0.05 |
| 米国経済に与える影響 | | 実質GDP | 個人消費 | 設備投資 | 政府支出 | 輸出 | 輸入 |
| 米中財政支出なし | 乖離率 | ▲0.29 | ▲0.50 | ▲0.38 | 0.00 | ▲0.13 | ▲0.88 |
| | 寄与度 | | ▲0.35 | ▲0.06 | 0.00 | ▲0.02 | 0.14 |
| 米中財政支出あり | 乖離率 | 0.00 | ▲0.50 | 0.00 | 2.07 | ▲0.09 | ▲0.08 |
| | 寄与度 | | ▲0.35 | 0.00 | 0.35 | ▲0.01 | 0.01 |
| 日本経済に与える影響 | | 実質GDP | 個人消費 | 住宅投資 | 設備投資 | 輸出 | 輸入 |
| 米中財政支出なし | 乖離率 | ▲0.13 | ▲0.01 | ▲0.01 | ▲0.47 | ▲0.96 | ▲0.60 |
| | 寄与度 | | ▲0.01 | ▲0.00 | ▲0.08 | ▲0.18 | 0.11 |
| 米中財政支出あり | 乖離率 | ▲0.01 | ▲0.00 | ▲0.00 | ▲0.03 | ▲0.06 | ▲0.04 |
| | 寄与度 | | ▲0.00 | ▲0.00 | ▲0.00 | ▲0.01 | 0.01 |

(注1) 米国が中国からの輸入2,500億ドルに25%の追加関税。
中国が米国からの輸入500億ドルに25%、600億ドルに平均14.5%追加関税。
(注2) 全て実質。ベースラインからの乖離率 (%) とその寄与度 (%pt)。
(出所) 大和総研のマクロモデルによる試算値

図表 8： 関税第 1-4 弾 (15%) の影響試算



(注1) 米国が中国からの輸入2500億ドルに30%の追加関税、3,000億ドルに15%追加関税、
中国が米国からの輸入500億ドルに25%追加関税、600億ドルに15%課税、
750億ドルに7.2%課税した場合の影響試算。
(注2) 全て実質。実績値からの乖離率。
(出所) 大和総研短期マクロモデルによる試算値

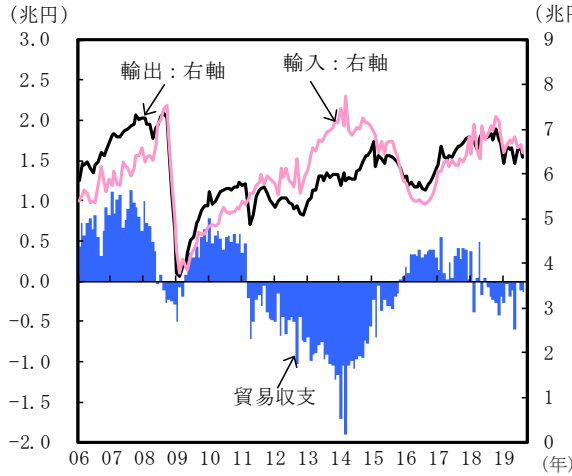
図表 9： 第 1-4 弾 (15%) の発動が日米中経済に与える影響（詳細版）

| 中国経済に与える影響 | | 実質GDP | 個人消費 | 設備投資 | 政府支出 | 輸出 | 輸入 |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 米中財政支出なし | 乖離率 | ▲0.38 | ▲0.54 | ▲0.13 | 0.00 | ▲1.03 | ▲0.59 |
| | 寄与度 | | ▲0.21 | ▲0.06 | 0.00 | ▲0.21 | 0.10 |
| 米中財政支出あり | 乖離率 | ▲0.10 | ▲0.54 | ▲0.04 | 1.46 | ▲0.75 | ▲0.39 |
| | 寄与度 | | ▲0.21 | ▲0.02 | 0.21 | ▲0.15 | 0.07 |
| 米国経済に与える影響 | | 実質GDP | 個人消費 | 設備投資 | 政府支出 | 輸出 | 輸入 |
| 米中財政支出なし | 乖離率 | ▲0.51 | ▲0.91 | ▲0.68 | 0.00 | ▲0.17 | ▲1.57 |
| | 寄与度 | | ▲0.63 | ▲0.12 | 0.00 | ▲0.02 | 0.26 |
| 米中財政支出あり | 乖離率 | 0.01 | ▲0.91 | 0.01 | 3.73 | ▲0.12 | ▲0.13 |
| | 寄与度 | | ▲0.63 | 0.00 | 0.63 | ▲0.02 | 0.02 |
| 日本経済に与える影響 | | 実質GDP | 個人消費 | 住宅投資 | 設備投資 | 輸出 | 輸入 |
| 米中財政支出なし | 乖離率 | ▲0.22 | ▲0.02 | ▲0.02 | ▲0.78 | ▲1.61 | ▲1.01 |
| | 寄与度 | | ▲0.01 | ▲0.00 | ▲0.13 | ▲0.30 | 0.18 |
| 米中財政支出あり | 乖離率 | ▲0.02 | ▲0.00 | ▲0.00 | ▲0.07 | ▲0.14 | ▲0.09 |
| | 寄与度 | | ▲0.00 | ▲0.00 | ▲0.01 | ▲0.03 | 0.02 |

(注1) 米国が中国からの輸入2500億ドルに30%の追加関税、3,000億ドルに15%追加関税、
中国が米国からの輸入500億ドルに25%追加関税、600億ドルに15%課税、750億ドルに7.2%課税した場合の影響試算。
(注2) 全て実質。実績値からの乖離率 (%) とその寄与度 (%pt)。
(出所) 大和総研のマクロモデルによる試算値

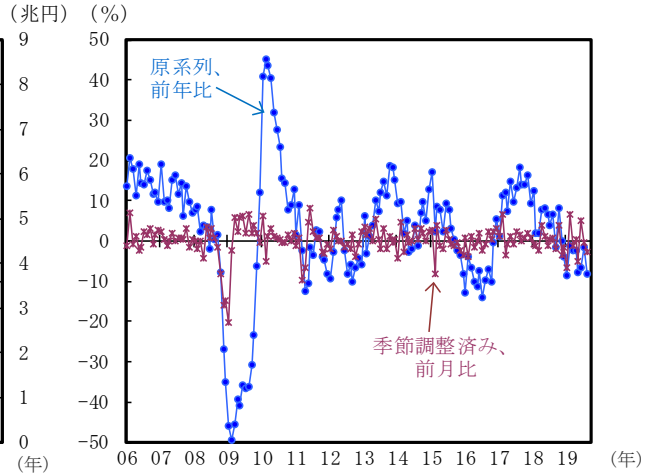
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

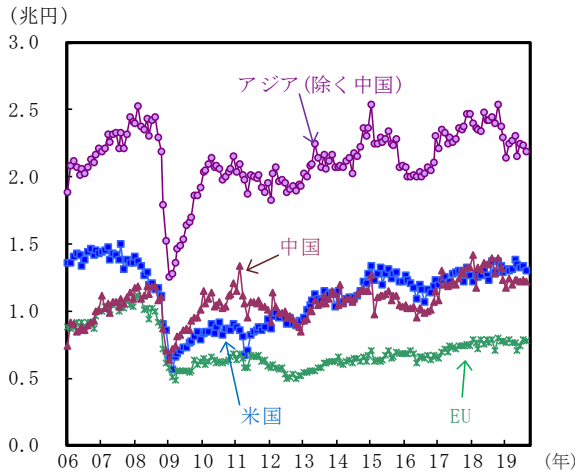


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

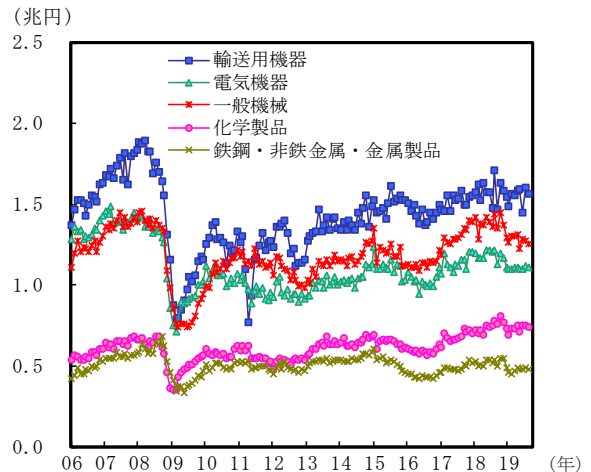


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

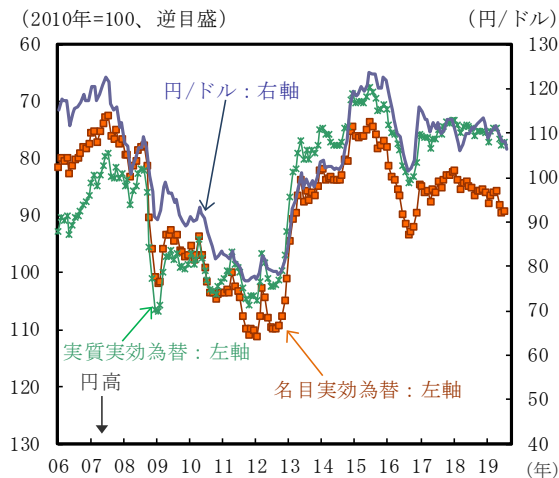


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）

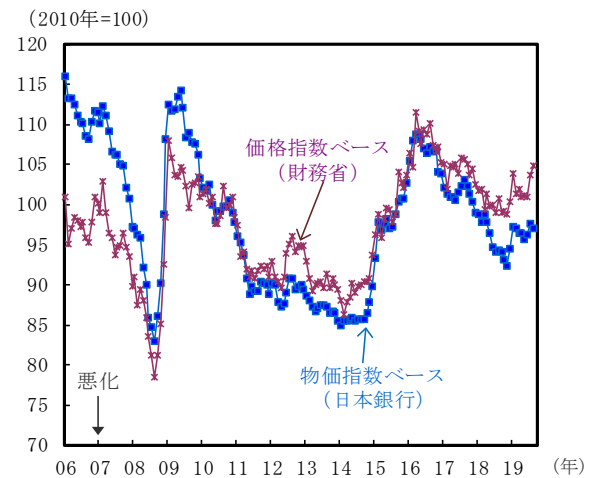


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



| 輸出金額 内訳 | | | | | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--------|
| | 2019/03 | 2019/04 | 2019/05 | 2019/06 | 2019/07 | 2019/08 | | |
| | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 構成比% | 寄与度%pt |
| 総額 | ▲2.4 | ▲2.4 | ▲7.8 | ▲6.6 | ▲1.5 | ▲8.2 | 100.0 | ▲8.2 |
| 食料品 | 8.6 | 6.1 | ▲8.9 | 7.9 | 4.9 | ▲3.5 | 0.9 | ▲0.0 |
| 原料品 | 0.1 | ▲0.2 | ▲8.0 | ▲11.7 | ▲13.5 | ▲12.1 | 1.3 | ▲0.2 |
| 鉱物性燃料 | 19.7 | 12.1 | 20.7 | 7.1 | 0.2 | ▲6.2 | 1.9 | ▲0.1 |
| 化学製品 | 0.6 | 9.1 | ▲5.2 | 1.5 | ▲0.1 | ▲5.1 | 11.8 | ▲0.6 |
| 原料別製品 | ▲6.8 | ▲0.7 | ▲10.1 | ▲8.6 | ▲5.1 | ▲11.0 | 11.1 | ▲1.3 |
| 鉄鋼 | ▲9.5 | ▲2.5 | ▲8.7 | ▲11.6 | ▲4.1 | ▲13.6 | 4.2 | ▲0.6 |
| 非鉄金属 | ▲12.9 | ▲7.1 | ▲18.4 | ▲11.7 | ▲10.7 | ▲10.0 | 1.9 | ▲0.2 |
| 金属製品 | ▲4.1 | 1.1 | ▲6.9 | ▲8.3 | ▲6.4 | ▲8.5 | 1.6 | ▲0.1 |
| 一般機械 | ▲5.4 | ▲4.1 | ▲13.1 | ▲8.0 | ▲7.2 | ▲12.3 | 19.3 | ▲2.5 |
| 電気機器 | ▲5.2 | ▲4.6 | ▲9.9 | ▲9.2 | ▲7.3 | ▲8.1 | 18.1 | ▲1.5 |
| 半導体等電子部品 | ▲7.6 | ▲5.7 | ▲3.9 | ▲7.9 | ▲7.8 | ▲2.7 | 5.8 | ▲0.1 |
| I C | ▲6.6 | ▲7.5 | 0.5 | ▲8.0 | ▲7.1 | ▲0.5 | 4.2 | ▲0.0 |
| 映像機器 | ▲17.2 | ▲6.9 | ▲21.4 | ▲24.5 | ▲5.6 | | | |
| 映像記録・再生機器 | ▲27.0 | ▲13.8 | ▲23.5 | ▲32.8 | ▲12.1 | ▲8.2 | 0.4 | ▲0.0 |
| 音響・映像機器の部分品 | ▲18.1 | ▲1.1 | ▲22.2 | 36.0 | ▲12.7 | ▲10.5 | 0.3 | ▲0.0 |
| 電気回路等の機器 | ▲6.3 | ▲6.7 | ▲11.0 | ▲11.9 | ▲9.0 | ▲14.5 | 2.5 | ▲0.4 |
| 輸送用機器 | 2.4 | ▲2.8 | 1.2 | ▲7.6 | 7.7 | ▲8.2 | 21.9 | ▲1.8 |
| 自動車 | 0.6 | ▲0.7 | 3.5 | ▲0.7 | 9.2 | ▲7.2 | 14.2 | ▲1.0 |
| 自動車の部分品 | ▲7.3 | ▲4.1 | ▲11.8 | ▲14.1 | ▲10.7 | ▲13.6 | 4.5 | ▲0.6 |
| その他 | ▲4.3 | ▲9.1 | ▲14.5 | ▲5.9 | 2.0 | ▲2.0 | 13.5 | ▲0.3 |
| 科学光学機器 | ▲12.1 | ▲3.1 | ▲12.2 | ▲5.9 | ▲8.0 | ▲7.5 | 3.0 | ▲0.2 |

| 米国向け輸出金額 内訳 | | | | | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--------|
| | 2019/03 | 2019/04 | 2019/05 | 2019/06 | 2019/07 | 2019/08 | | |
| | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 構成比% | 寄与度%pt |
| 総額 | 4.4 | 9.6 | 3.3 | 4.9 | 8.4 | ▲4.4 | 100.0 | ▲4.4 |
| 食料品 | 10.6 | 18.3 | ▲2.4 | 10.1 | 11.8 | ▲5.3 | 0.7 | ▲0.0 |
| 原料品 | ▲34.7 | 38.5 | ▲5.6 | 4.7 | 16.1 | ▲22.7 | 0.5 | ▲0.1 |
| 鉱物性燃料 | 210.3 | 153.6 | 213.8 | ▲41.1 | 40.2 | 9.6 | 1.5 | 0.1 |
| 化学製品 | ▲2.4 | 32.4 | ▲0.7 | 17.7 | ▲1.2 | 4.9 | 7.9 | 0.4 |
| 原料別製品 | 12.4 | 10.3 | ▲4.0 | ▲3.9 | 1.8 | ▲7.1 | 6.3 | ▲0.5 |
| 鉄鋼 | 21.4 | ▲7.5 | ▲22.6 | ▲18.6 | 12.3 | ▲2.9 | 1.3 | ▲0.0 |
| 非鉄金属 | 34.8 | 53.7 | ▲2.0 | 8.9 | 3.7 | ▲2.8 | 0.8 | ▲0.0 |
| 金属製品 | 4.4 | 12.2 | 8.7 | 2.8 | ▲5.5 | ▲7.9 | 1.6 | ▲0.1 |
| 一般機械 | 8.9 | 16.7 | 7.7 | 16.1 | 16.3 | 1.3 | 24.2 | 0.3 |
| 電気機器 | ▲0.7 | ▲4.7 | ▲7.6 | ▲5.8 | ▲1.2 | ▲8.8 | 13.6 | ▲1.3 |
| 半導体等電子部品 | ▲1.8 | ▲3.7 | ▲6.3 | ▲7.2 | ▲15.4 | ▲12.7 | 1.4 | ▲0.2 |
| I C | ▲9.9 | ▲1.7 | ▲12.2 | ▲9.1 | ▲14.2 | ▲15.4 | 0.7 | ▲0.1 |
| 映像機器 | 15.1 | 14.1 | ▲12.8 | ▲24.5 | 16.8 | | | |
| 映像記録・再生機器 | ▲2.7 | 0.5 | ▲6.8 | ▲37.5 | 7.7 | 7.5 | 0.7 | 0.0 |
| 音響・映像機器の部分品 | ▲13.4 | ▲14.8 | ▲4.3 | 349.1 | ▲15.3 | 55.1 | 0.3 | 0.1 |
| 電気回路等の機器 | 2.7 | 2.0 | ▲3.0 | ▲0.0 | 5.3 | ▲3.5 | 1.5 | ▲0.1 |
| 輸送用機器 | 2.2 | 7.5 | 5.3 | 1.3 | 2.6 | ▲11.7 | 33.5 | ▲4.2 |
| 自動車 | 5.1 | 8.3 | 9.9 | 4.3 | 1.5 | ▲13.0 | 24.4 | ▲3.5 |
| 自動車の部分品 | ▲9.4 | ▲5.2 | ▲8.5 | ▲9.2 | 1.1 | ▲11.9 | 5.5 | ▲0.7 |
| その他 | 7.2 | ▲0.7 | ▲0.6 | 9.6 | 36.6 | 8.9 | 11.8 | 0.9 |
| 科学光学機器 | ▲4.4 | 4.6 | 1.1 | 9.1 | 6.1 | 18.3 | 2.6 | 0.4 |

| EU向け輸出金額 内訳 | | | | | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--------|
| | 2019/03 | 2019/04 | 2019/05 | 2019/06 | 2019/07 | 2019/08 | | |
| | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 構成比% | 寄与度%pt |
| 総額 | 7.3 | ▲2.6 | ▲7.1 | ▲6.7 | 2.2 | ▲1.3 | 100.0 | ▲1.3 |
| 食料品 | 5.0 | 20.0 | 10.1 | 34.4 | 6.3 | 9.0 | 0.4 | 0.0 |
| 原料品 | ▲9.2 | ▲13.3 | 40.9 | ▲9.2 | ▲11.0 | 0.2 | 1.1 | 0.0 |
| 鉱物性燃料 | 780.3 | 7.3 | 61.1 | ▲47.7 | 20.7 | ▲31.6 | 0.3 | ▲0.1 |
| 化学製品 | 4.8 | 4.2 | ▲11.2 | 2.6 | ▲10.4 | ▲3.8 | 9.8 | ▲0.4 |
| 原料別製品 | ▲8.1 | 0.1 | ▲17.1 | ▲6.7 | ▲15.7 | ▲5.2 | 6.4 | ▲0.3 |
| 鉄鋼 | ▲18.5 | 2.3 | ▲16.4 | ▲18.4 | ▲30.0 | 10.7 | 0.9 | 0.1 |
| 非鉄金属 | ▲22.5 | ▲22.2 | ▲29.1 | 6.0 | ▲31.9 | ▲13.6 | 0.9 | ▲0.1 |
| 金属製品 | 1.5 | 14.1 | ▲3.5 | 3.2 | ▲2.6 | 3.7 | 1.6 | 0.1 |
| 一般機械 | 1.2 | 0.3 | ▲5.2 | ▲9.5 | ▲7.9 | ▲12.4 | 21.2 | ▲3.0 |
| 電気機器 | ▲1.2 | ▲1.4 | ▲8.5 | ▲10.9 | ▲8.8 | ▲6.7 | 16.5 | ▲1.2 |
| 半導体等電子部品 | ▲9.5 | ▲9.9 | ▲17.0 | ▲14.3 | ▲14.5 | ▲14.7 | 1.9 | ▲0.3 |
| I C | ▲19.9 | ▲21.8 | ▲25.3 | ▲23.6 | ▲25.3 | ▲28.3 | 0.8 | ▲0.3 |
| 映像機器 | ▲18.3 | ▲6.1 | ▲0.2 | ▲31.7 | ▲15.0 | | | |
| 映像記録・再生機器 | ▲16.8 | ▲5.5 | 2.1 | ▲29.6 | ▲17.3 | 1.0 | 0.6 | 0.0 |
| 音響・映像機器の部分品 | ▲12.5 | ▲20.9 | ▲2.4 | 3.7 | 3.9 | 0.7 | 0.2 | 0.0 |
| 電気回路等の機器 | ▲12.2 | ▲7.1 | ▲18.9 | ▲17.4 | ▲15.4 | ▲14.5 | 1.5 | ▲0.3 |
| 輸送用機器 | 9.5 | ▲6.2 | ▲3.5 | ▲12.2 | 34.6 | 0.9 | 26.4 | 0.2 |
| 自動車 | 24.0 | 7.9 | 3.5 | 21.0 | 50.4 | 10.3 | 17.6 | 1.6 |
| 自動車の部分品 | ▲7.8 | 4.2 | ▲8.2 | ▲2.4 | 2.2 | ▲2.6 | 6.0 | ▲0.2 |
| その他 | 32.5 | ▲7.3 | ▲13.5 | 9.4 | ▲0.5 | 23.5 | 18.0 | 3.4 |
| 科学光学機器 | 5.8 | 8.1 | ▲12.5 | 2.7 | ▲0.7 | 7.0 | 3.2 | 0.2 |

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

| アジア向け輸出金額 内訳 | | | | | | | | |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--------|
| | 2019/03 | 2019/04 | 2019/05 | 2019/06 | 2019/07 | 2019/08 | | |
| | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 構成比% | 寄与度%pt |
| 総額 | ▲5.5 | ▲3.3 | ▲12.1 | ▲8.2 | ▲8.3 | ▲10.9 | 100.0 | ▲10.9 |
| 食料品 | 11.4 | 4.0 | ▲9.3 | 6.1 | 3.2 | ▲3.2 | 1.3 | ▲0.0 |
| 原料品 | 7.8 | ▲1.2 | ▲12.6 | ▲13.3 | ▲17.4 | ▲12.4 | 1.9 | ▲0.2 |
| 鉱物性燃料 | ▲21.3 | ▲7.3 | ▲19.8 | ▲25.0 | ▲16.3 | 3.3 | 1.8 | 0.1 |
| 化学製品 | 0.0 | 5.7 | ▲4.6 | ▲1.3 | 1.0 | ▲7.3 | 15.7 | ▲1.1 |
| 原料別製品 | ▲10.8 | ▲5.1 | ▲10.7 | ▲10.0 | ▲9.1 | ▲13.9 | 14.0 | ▲2.0 |
| 鉄鋼 | ▲15.6 | ▲5.9 | ▲7.0 | ▲10.9 | ▲11.4 | ▲19.7 | 5.7 | ▲1.2 |
| 非鉄金属 | ▲15.5 | ▲11.2 | ▲19.0 | ▲14.5 | ▲10.4 | ▲12.0 | 2.9 | ▲0.3 |
| 金属製品 | ▲7.5 | ▲4.2 | ▲9.7 | ▲11.6 | ▲8.6 | ▲7.1 | 1.8 | ▲0.1 |
| 一般機械 | ▲9.8 | ▲10.8 | ▲21.5 | ▲14.5 | ▲13.8 | ▲16.8 | 19.0 | ▲3.4 |
| 電気機器 | ▲6.9 | ▲5.4 | ▲10.3 | ▲9.5 | ▲9.2 | ▲8.1 | 23.2 | ▲1.8 |
| 半導体等電子部品 | ▲7.8 | ▲5.5 | ▲2.7 | ▲7.5 | ▲6.8 | ▲1.6 | 9.7 | ▲0.1 |
| I C | ▲5.9 | ▲7.2 | 2.2 | ▲7.3 | ▲6.2 | 1.0 | 7.3 | 0.1 |
| 映像機器 | ▲34.9 | ▲25.5 | ▲35.4 | ▲26.1 | ▲23.8 | | | |
| 映像記録・再生機器 | ▲38.6 | ▲30.5 | ▲41.0 | ▲32.8 | ▲22.6 | ▲20.9 | 0.3 | ▲0.1 |
| 音響・映像機器の部分品 | ▲19.5 | 3.0 | ▲25.2 | ▲3.5 | ▲10.7 | ▲18.0 | 0.4 | ▲0.1 |
| 電気回路等の機器 | ▲7.6 | ▲6.9 | ▲11.4 | ▲13.1 | ▲11.9 | ▲16.2 | 3.6 | ▲0.6 |
| 輸送用機器 | 6.2 | 2.5 | ▲6.3 | 1.5 | ▲8.5 | ▲13.1 | 8.2 | ▲1.1 |
| 自動車 | ▲3.1 | 1.2 | 1.6 | 11.9 | 5.7 | ▲12.9 | 3.9 | ▲0.5 |
| 自動車の部分品 | ▲6.1 | ▲11.8 | ▲14.4 | ▲21.1 | ▲21.5 | ▲16.8 | 3.3 | ▲0.6 |
| その他 | ▲5.2 | ▲1.1 | ▲12.8 | ▲7.6 | ▲6.2 | ▲8.6 | 14.9 | ▲1.2 |
| 科学光学機器 | ▲17.8 | ▲6.7 | ▲14.2 | ▲10.4 | ▲12.0 | ▲14.2 | 3.7 | ▲0.6 |

| 中国向け輸出金額 内訳 | | | | | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--------|
| | 2019/03 | 2019/04 | 2019/05 | 2019/06 | 2019/07 | 2019/08 | | |
| | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 前年比% | 構成比% | 寄与度%pt |
| 総額 | ▲9.4 | ▲6.3 | ▲9.7 | ▲10.1 | ▲9.3 | ▲12.1 | 100.0 | ▲12.1 |
| 食料品 | 8.9 | ▲8.2 | ▲0.3 | 24.8 | 42.3 | 41.5 | 0.9 | 0.2 |
| 原料品 | ▲2.1 | ▲13.7 | ▲29.2 | ▲28.1 | ▲52.9 | ▲43.5 | 1.4 | ▲0.9 |
| 鉱物性燃料 | 7.3 | ▲5.5 | ▲21.5 | 32.2 | 20.4 | 4.4 | 1.7 | 0.1 |
| 化学製品 | ▲1.2 | 11.0 | ▲0.0 | ▲3.5 | 5.7 | ▲5.7 | 16.9 | ▲0.9 |
| 原料別製品 | ▲14.8 | ▲7.4 | ▲10.4 | ▲18.2 | ▲4.5 | ▲11.6 | 11.2 | ▲1.3 |
| 鉄鋼 | ▲15.5 | ▲14.0 | ▲0.7 | ▲17.7 | ▲4.0 | ▲15.6 | 3.4 | ▲0.5 |
| 非鉄金属 | ▲30.1 | ▲9.2 | ▲17.1 | ▲30.0 | ▲1.8 | ▲10.6 | 2.6 | ▲0.3 |
| 金属製品 | ▲9.3 | ▲2.5 | ▲9.6 | ▲13.1 | ▲4.0 | ▲7.5 | 1.8 | ▲0.1 |
| 一般機械 | ▲13.9 | ▲17.3 | ▲17.1 | ▲17.8 | ▲17.8 | ▲20.2 | 22.7 | ▲5.1 |
| 電気機器 | ▲13.3 | ▲11.3 | ▲11.5 | ▲14.2 | ▲14.1 | ▲10.1 | 21.6 | ▲2.1 |
| 半導体等電子部品 | ▲16.7 | ▲21.5 | ▲3.4 | ▲21.3 | ▲19.0 | ▲4.6 | 7.1 | ▲0.3 |
| I C | ▲22.4 | ▲31.0 | ▲0.9 | ▲24.0 | ▲23.7 | ▲2.6 | 5.1 | ▲0.1 |
| 映像機器 | ▲42.5 | ▲31.7 | ▲35.7 | ▲29.4 | ▲26.9 | | | |
| 映像記録・再生機器 | ▲45.3 | ▲38.6 | ▲41.6 | ▲40.3 | ▲25.9 | ▲13.7 | 0.6 | ▲0.1 |
| 音響・映像機器の部分品 | ▲19.0 | 17.5 | ▲30.3 | 4.9 | ▲7.2 | ▲6.7 | 0.6 | ▲0.0 |
| 電気回路等の機器 | ▲13.0 | ▲10.1 | ▲16.1 | ▲18.3 | ▲14.2 | ▲20.8 | 3.7 | ▲0.9 |
| 輸送用機器 | ▲0.6 | 2.5 | 5.7 | 5.5 | ▲4.8 | ▲15.2 | 8.6 | ▲1.4 |
| 自動車 | 19.8 | 28.7 | 46.1 | 78.7 | 31.4 | ▲0.1 | 4.3 | ▲0.0 |
| 自動車の部分品 | ▲13.7 | ▲15.6 | ▲19.7 | ▲30.5 | ▲35.0 | ▲27.9 | 4.1 | ▲1.4 |
| その他 | ▲7.0 | ▲0.4 | ▲8.7 | 2.6 | ▲6.1 | ▲4.6 | 15.1 | ▲0.6 |
| 科学光学機器 | ▲23.7 | ▲6.6 | ▲18.3 | ▲4.6 | ▲8.7 | ▲17.9 | 5.8 | ▲1.1 |

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成